

2024年8月14日

2025年3月期 第1四半期決算のお知らせ

あかつき証券株式会社

あかつき証券株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：工藤英人）の2025年3月期第1四半期決算（日本基準・連結）は以下のとおりとなりましたのでお知らせします。

（百万円未満切捨て）

1. 2025年3月期の第1四半期連結業績（2024年4月1日～2024年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は対前年同四半期増減率）

	営業収益		純営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	4,104	30.1	4,088	30.7	505	35.3	616	36.8	413	35.6
2024年3月期第1四半期	3,155	34.0	3,128	33.0	373	-	450	-	305	-

（注）包括利益 2025年3月期第1四半期 417百万円（36.8％） 2024年3月期第1四半期 305百万円（-％）

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2025年3月期第1四半期	10	48	-	-
2024年3月期第1四半期	7	73	-	-

（注）潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であるため、期中平均株価が把握できませんので記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円	銭	
2025年3月期第1四半期	46,926	7,870	7,870	7,870	16.8	199	02	
2024年3月期	47,177	7,453	7,453	7,453	15.8	188	45	

（参考）自己資本 2025年3月期第1四半期 7,861百万円 2024年3月期 7,443百万円

2. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

当社グループの主たる事業である金融商品取引業の業績は経済情勢や相場環境によって大きく影響を受ける状況にあり、連結業績予想を行うことが困難であることから、開示しておりません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 - ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
 - ② ①以外の会計方針の変更：無
 - ③ 会計上の見積りの変更：無
 - ④ 修正再表示：無

(注) 詳細は添付資料「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期1Q	39,500,791株	2024年3月期	39,500,791株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	—	2024年3月期	—
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期1Q	39,500,791株	2024年3月期1Q	39,500,791株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

【添付資料】

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(会計方針の変更に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
3. 補足情報	9
(1) 連結損益計算書の四半期推移	9
(2) 預り資産	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間（2024年4月1日から2024年6月30日まで）における我が国の経済は、企業業績が前期に引き続き堅調に推移し、雇用・所得環境も改善の動きが見られるなど緩やかな回復基調となりましたが、ウクライナ情勢や中東情勢の長期化、円安基調継続による物価高の進行、中国の国内需要の低迷による景況減速などにより、景気の先行きは依然不透明な状況が続いております。

こうした状況の下、当社グループでは、コアビジネスである金融商品仲介ビジネス（以下、「IFAビジネス」と言います。）の拡大、及び金融機関等とのアライアンスの強化を戦略的に推進しました。

IFAビジネスでは、契約仲介業者による顧客サポートの充実に貢献すべく、強みとする対面サポート体制の強化に加え、システム面での利便性向上や商品ラインナップの拡充などを進めております。システム面では、取引利便性向上のために昨年導入した「外国債券売買システム」「外国債券ポートフォリオシステム」の認知が進み、外国債券の預り資産の増加に寄与しました。商品面では、新NISA制度の対象銘柄を中心に国内投資信託の取扱本数を629銘柄まで増加させ、併せて外国投資信託の取扱いを拡充し、多様化する商品ニーズに対応しました。また、米国国債や事業債の最低購入価額の引下げにより、顧客の投資機会の拡大に努めました。

金融機関等とのアライアンスについては、5月に子会社のジャパンウェルズアドバイザーズ㈱（金融商品仲介業者）（以下「JWA」という。）において、日本生命グループの株式会社ほけんの110番と業務提携を行いました。今後も金融機関等とのアライアンスの強化を推進し、顧客基盤の強化と販売チャネルの拡大を進めてまいります。

上記の取組みにより2024年6月末の契約仲介業者外務員数は1,767名（2024年3月末比89名増）、子会社のJWAの提携金融機関における管理資産残高を含めた預り資産残高は6,117億円（同541億円増）、IFA部門の預り資産残高は3,515億円（同376億円増）と拡大しました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の営業収益は4,104百万円、（前期比30.1%増）、純営業収益は4,088百万円（同30.7%増）、販売費・一般管理費は3,582百万円（同30.1%増）、営業利益は505百万円（同35.3%増）となりました。

主な収益・費用の状況は以下のとおりです。

【受入手数料】

受入手数料の合計は1,733百万円となりました。科目別の内訳は以下のとおりです。

[委託手数料]

委託手数料は、国内株式取引を中心に1,058百万円となりました。

[募集・売出しの取扱手数料]

募集・売出しの取扱手数料は、投資信託の販売手数料を中心に493百万円となりました。

[その他の受入手数料]

その他の受入手数料は、投資信託の信託報酬を中心に180百万円となりました。

【トレーディング損益】

トレーディング損益は、債券の販売を中心に 2,336 百万円となりました。

【金融収支】

金融収益は 34 百万円となりました。また、金融収益から金融費用を差し引いた金融収支は 18 百万円となりました。

【販売費及び一般管理費】

販売費及び一般管理費は 3,582 百万円となりました。主な内訳は取引関係費 2,393 百万円、人件費 815 百万円、事務費 203 百万円、不動産関係費 104 百万円となっております。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

[資産]

当第 1 四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて 250 百万円減少し 46,926 百万円となりました。これは、現金・預金が 1,011 百万円、信用取引借証券担保金が 87 百万円減少、差入保証金が 812 百万円増加したこと等によるものです。

[負債]

当第 1 四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて 668 百万円減少し 39,056 百万円となりました。これは、預り金が 1,648 百万円増加、短期借入金 2,200 百万円減少したこと等によるものです。

[純資産]

当第 1 四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて 417 百万円増加し、7,870 百万円となりました。これは、利益剰余金が 413 百万円増加したこと等によるものです。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金・預金	14,186	13,175
預託金	24,500	23,700
トレーディング商品	6	124
約定見返勘定	1,201	1,366
信用取引資産	4,218	4,385
信用取引貸付金	3,969	4,223
信用取引借証券担保金	248	161
差入保証金	747	1,560
未収入金	413	595
未収収益	234	330
その他	92	191
流動資産合計	45,601	45,429
固定資産		
有形固定資産	260	257
無形固定資産	216	243
投資その他の資産		
投資有価証券	700	719
長期差入保証金	180	180
その他	394	273
貸倒引当金	△176	△176
投資その他の資産合計	1,099	996
固定資産合計	1,576	1,497
資産合計	47,177	46,926

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
トレーディング商品	-	367
信用取引負債	1,450	1,225
信用取引借入金	1,058	903
信用取引貸証券受入金	391	322
有価証券担保借入金	198	309
預り金	25,316	26,964
受入保証金	936	956
短期借入金	9,100	6,900
未払法人税等	646	123
賞与引当金	200	129
未払金	1,054	1,244
未払費用	143	149
その他	108	111
流動負債合計	39,154	38,482
固定負債		
退職給付に係る負債	254	251
役員株式給付引当金	144	150
その他	120	121
固定負債合計	519	522
特別法上の準備金		
金融商品取引責任準備金	50	50
特別法上の準備金合計	50	50
負債合計	39,724	39,056
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,067	3,067
資本剰余金	1,349	1,349
利益剰余金	2,979	3,393
株主資本合計	7,396	7,810
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	47	51
その他の包括利益累計額合計	47	51
新株予約権	9	9
純資産合計	7,453	7,870
負債・純資産合計	47,177	46,926

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
営業収益		
受入手数料	1,439	1,733
委託手数料	1,042	1,058
引受け・売出し・特定投資家向け 売付け勧誘等の手数料	2	1
募集・売出し・特定投資家向け 売付け勧誘等の取扱手数料	286	493
その他の受入手数料	107	180
トレーディング損益	1,684	2,336
金融収益	31	34
営業収益計	3,155	4,104
金融費用	27	16
純営業収益	3,128	4,088
販売費・一般管理費	2,754	3,582
取引関係費	1,724	2,393
人件費	675	815
不動産関係費	96	104
事務費	197	203
減価償却費	23	24
租税公課	21	23
その他	16	18
営業利益	373	505
営業外収益	76	113
営業外費用	0	3
経常利益	450	616
特別損失	-	0
税金等調整前四半期純利益	450	615
法人税、住民税及び事業税	158	79
法人税等調整額	△13	122
法人税等合計	145	201
四半期純利益	305	413
親会社株主に帰属する四半期純利益	305	413

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	305	413
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	-	3
その他の包括利益合計	-	3
四半期包括利益	305	417
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	305	417
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」（企業会計基準第 27 号 2022 年 10 月 28 日。以下「2022 年改正会計基準」という。）等を当第 1 四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分（その他の包括利益に対する課税）に関する改正については、2022 年改正会計基準第 20－3 項ただし書きに定める経過的な取り扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第 28 号 2022 年 10 月 28 日。以下「2022 年改正適用指針」という。）第 65－2 項(2) ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

当社グループは、「証券関連事業」という単一セグメントであるため、セグメント情報については記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第 1 四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第 1 四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む）は、以下のとおりであります。

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 2023 年 4 月 1 日 至 2023 年 6 月 30 日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 2024 年 4 月 1 日 至 2024 年 6 月 30 日)
減価償却費	23百万円	24百万円

3. 補足情報

(1) 連結損益計算書の四半期推移

(単位：百万円)

	前連結会計年度				当連結会計年度
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期
	2023. 4. 1 2023. 6. 30	2023. 7. 1 2023. 9. 30	2023. 10. 1 2023. 12. 31	2024. 1. 1 2024. 3. 31	2024. 4. 1 2024. 6. 30
営業収益					
受入手数料	1,439	1,462	1,398	2,060	1,733
トレーディング損益	1,684	2,140	2,111	2,077	2,336
金融収益	31	29	20	23	34
営業収益計	3,155	3,632	3,530	4,161	4,104
金融費用	27	20	11	21	16
純営業収益	3,128	3,612	3,518	4,139	4,088
販売費・一般管理費	2,754	3,205	3,125	3,643	3,582
営業利益	373	406	392	495	505
営業外収益	76	108	92	125	113
営業外費用	0	1	12	11	3
経常利益	450	513	472	610	616
特別損失	-	0	9	13	0
税金等調整前当期純利益	450	513	463	596	615
法人税、住民税及び事業税	158	193	134	244	79
法人税等調整額	△13	△36	32	△57	122
法人税等合計	145	156	166	186	201
当期純利益	305	357	297	409	413
親会社株主に帰属する当期純利益	305	357	297	409	413

(2) 預り資産

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結会計期間末 (2023年6月末)		当第1四半期 連結会計期間末 (2024年6月末)		前連結会計年度末 (2024年3月末)	
	実績	前年 同四半期比	実績	前年 同四半期比	実績	前期比
預り資産	446,635	117.6%	611,790	137.0%	557,641	139.4%
うち IFA	245,670	127.8%	351,543	143.1%	313,897	145.4%

(注) 預り資産残高は、当社の預り資産残高と、子会社のジャパンウェルスアドバイザーズ株式会社の提携金融機関における管理資産残高の合計となっております。